

## 編集後記

半年余りにわたり準備を進めてきた「第 29 回放射線利用総合シンポジウム」は、予定通りに 1 月 18 日、大阪大学中之島センターで、Online との併用で無事に開催されました。ちょうどその 5 日前に大阪府にも緊急事態宣言が出されましたが、中之島センターには、特に自治体からの要請がなく、会議室の安全な利用条件を守って実施しました。

今年は次第に状況が好転することを祈ります。



Ver.2020.09.07

Produced by 放射線研究センター 准教授 秋吉 優史 (akiyoshi@riast.osakafu-u.ac.jp)

# 大阪府立大学発 ペルチェ冷却式高性能霧箱

## 従来型の霧箱の問題点

- ・ドライアイスの準備、補給が必要で、長時間の連続展示が困難
- ・アルコールの補給などでチャンバーを開けると復帰まで数分かかる
- ・高温型の霧箱は起動に時間がかかり、子供向けにはヤケドの危険
- ・市販のペルチェ冷却型は非常に高価
- ・天候などにより飛跡が観察できないことも
- ・ $\alpha$ 線の飛跡が見えた、だけに留まっていた

2019年7月出荷分より使用するCPUクーラーがサイドフロータイプに変更となり、到達温度がより低くなりました。

## 本製品の特徴

- ・ドライアイス不要で長時間安定してクリアな飛跡の観察が可能
- ・ $\alpha$ 線の飛跡の観察に加えて、 $\beta$ 線の飛跡の観察も可能で、さらには $\gamma$ 線により弾き出された光電子なども観察可能
- 放射線の種類による物質との相互作用の違いを直感的に学習出来る
- ・市販品を使用して安価に押さえており、複数ユニット購入が容易
- ・新開発の EX型は 6cm角の観察面と大型チャンバーにより大勢での観察が可能

本製品は、大阪ニュークリアサイエンス協会を通じて販売を行っております。大学・官公庁の公費売掛にも対応しておりますので、[onsa-ofc@nifty.com](mailto:onsa-ofc@nifty.com) までお問い合わせ願います。より詳しく本製品のことを知りたい方は、以下のウェブサイトをご覧ください。  
<http://bigbird.riast.osakafu-u.ac.jp/~akiyoshi/Works/CloudChamber.htm>



ホームページQRコード



新型の EX型、SD型、旧型の大きさの比較



新型の SD型 システム